

広 報 く に み

# KUNIMI

7

2023

No. 600

## Cover

今月の表紙は石母田三吉神社のアジサイです。  
本殿に続く参道や境内には青や赤紫、白などの色鮮やかな大輪の花が咲き、梅雨の季節に彩りを与えました。  
手水舎ではアジサイの花を浮かべる「花手水」が行われ、参拝に訪れた人たちを楽しませていました。

## Contents

- 02 … 広報くにも 600 号記念特集
- 06 … 出水期に備えて
- 09 … 国民健康保険税率のお知らせ
- 10 … 電気柵の適切な管理を
- 14 … まちのわだい ほか

# 皆さんの思いを紙面にのせて——



笑顔とともに

# 600号



昭和48年6月1日に「広報くにみ創刊号」が発行されてから今年で50年。広報は、毎月町の出来事やお知らせを皆さんに伝え続けてきました。国見町の「いま」を切り取ってきた広報は今月号で600号を迎えました。今回は、読者の皆さんへ感謝の気持ちを込めて「広報くにみ」のこれまでを振り返ります——



## 広報くにみの歴史

『広報くにみ』は『公民館報くにみ』に引き継ぎ、昭和48年6月1日に創刊されました。昭和48年といえは、第四次中東戦争の影響で、生活必需品などの物価の急上昇が起きました。このことは「第一次オイルショック」と呼ばれ、日本経済に大打撃を与えました。そんな激動の時代に、広報くにみは生まれたのです。

広報くにみは、紙面構成やロゴなど、時代とともに変化してきました。中でも大きな変化があったのは2回。

1回目は、平成8年4月号。今までモノクロ印刷だった広報が2色刷りに変わりました。紙面に色が入り、メリハリのある広報になりました。

そして2回目は、平成27年3月号。それまでのカラーページは数ページのみでしたが、この号から全ページをカラー化。読者の皆さんに町の出来事をより分かりやすく、色鮮やかに伝えることができるようになりました。

## これまでの「広報くにみ」



創刊号 (昭和48年6月)

広報くにみの創刊号。大きさはB5サイズで8ページ。「広報くにみ」のロゴや背景のインターチェンジ、紙面の表やグラフは手書きで文字がびっしり。当初予算や重点事業について掲載。



100号 (昭和56年10月)

100号の表紙は県北中学校のスポーツテスト。紙面には昭和55年度の決算状況。当時の総額は約22億円でした。発行100号を記念して開催された「広報座談会」の様子も掲載。



274号 (平成8年4月)

モノクロ印刷から2色刷りに変更。紙面では写真やイラストを効果的に使って当初予算や重点事業を紹介。小・中学校の入学式や、グリーンアリーナの起工式の様子を掲載。



300号 (平成10年6月)

300号の表紙は旧森江野小学校の運動会。紙面では「ごみへのマナー」を特集。町民や町職員、警察官や回収業者など、さまざまな立場の方に「ごみ」に対する思いをインタビューし掲載。



322号 (平成12年4月)

表紙や一部ページをフルカラーに変更。子どもたちの生き生きとした表情を読者の皆さんへ伝えました。「広報くにみ」のロゴも大きくリニューアルされ、さらに見やすい広報紙へ。



500号 (平成27年3月)

500号を記念して、全ページカラー印刷に変更。表紙には国に認定された「国見町歴史的風致維持向上計画」で取り上げられている、国見町の「たからもの」を掲載し、紙面でも特集。



芽生さんの「今年の抱負」を掲載した平成25年1月号。(当時小学校5年生)10年前の広報紙。

## 子どもたちの笑顔に元気をもらえる——

鈴木 芽生さん

広報くみにが600号と聞いて驚きました。私の年齢の倍以上も続いているんですね。私自身、10年前に広報に載ったことを忘れていました。当時の抱負は「勉強を頑張ること」だったようなので、夢をかなえるためにこれからも勉強を頑張りたいです。広報は「この記事がおもしろいよ」と家族が教えてくれるので、よく読んでいます。特に母は、子どもたちの写真や記事が気に入っていて、毎月楽しみに読んでいます。イベントや募集記事など、大きくお知らせしてくれると良いですね。写真が多いと分かりやすく見やすいと思います。若い世代とお年寄り世代のニーズを一緒につかむのは、とても難しいと思いますが、幅広い世代に読んでもらえるような広報であってほしいです。

## 町の「いま」を皆さんに届ける——

佐藤 吉茂さん

広報は毎月かかさず読んでいます。特に表紙の写真と裏表紙の「夢に向かって」は楽しみに読んでいます。『今月の特集は何か』『今月はどんなことがあったのかな』と注目しています。私自身も仕事で広報を10年近く作っていた経験があるので、1冊の広報を作り上げる大変さと苦勞を感じます。広報は、町の取り組みを町民に知らせる唯一の媒体なので、重点事業や町が取り組んでいること、これを頑張っているんだということを知りやすく記事にしてもらえるとありがたいですね。また、毎月の配達では、間違いなく皆さんのもとに広報が届くように気を付けています。「いつもありがとう」と声をかけていただくこともあり、やりがいを感じます。これからも皆さんのために、丁寧な配達を心がけています。



佐藤さんは齋藤博光さんとふたりで、「広報くみに」やお知らせ版、各団体のチラシなどを各町内会長のもとへ、毎月お届けしています。

### 誰かの思いが町の力に

『広報くみに』600号をきっかけに、これまでの広報を振り返り、あらためて町の姿や、そこに住む人々の地域愛を感じることができました。

広報くみにみは、町のお知らせだけでなく、その時々地域の皆さんの頑張りに思いを紙面に映してきました。手に取り、読んでいただくために大切なことは、主役は町民の皆さんだということ。一生懸命に頑張る皆さんの姿に元気づけられたり、かわいい子どもたちの姿を見て笑顔になれたり、知らなかった町の良さを知れたり——

特に写真には大きな力があって、時に言葉以上に多くの情報を伝えることができます。たった一枚の写真でその時の情景や被写体の感情、音や匂いのように、さまざまな『瞬間』を伝えることができます。読者の目を引き、読んでみたい、自分も広報に出てみたいと思ってもらえるような広報を作りたいです。

広報自体に大きな力はないかもしれませんが、誰かの頑張る姿や優しい笑顔、地域の人々の温かな思いに触れたとき、「私も頑張ってみよう」と思ってもらえたら、きっとその思いが国見町を支える大きな力になるのではないのでしょうか。

# 皆さんとつくる身近な広報紙

## 映っているのは輝く笑顔——

『広報くみに』は毎号、多くの人々が登場しています。生まれたばかりの赤ちゃんからお年寄りの方まで、時期によっては掲載しきれないほどの「まちのわだい」が出てくることも。

皆さんの協力がある600号。広報くみは昭和・平成・令和と長い年月を重ね、これからも続いていきます。そんな広報と皆さんとのエピソードや、これからの広報に期待することなどを紹介します。

## 広報は家族のアルバムのような存在——

大越 政寛さん 亜裕美さん 陸翔さん

息子が誕生したときが500号。それから約8年が過ぎ、今回が600号ということで長い歴史を感じます。10年前に国見町へ移住してきたのですが、広報は毎月かかさず読んでいます。特に息子が生まれてからは、幼稚園の運動会やイベントに参加した時の写真、息子の作品が掲載されたこともあり、家族が載っていると嬉しいし、『今月は載っていないかな』と探す楽しみもあります。広報に町内企業の求人などを掲載してもらえるとありがたいですね。近くで働きたいと思っている人は多いと思います。広報くみには、これからも町内の出来事や課題にしっかりと目を向け、「国見町民のための」地域に根差した広報であり続けてほしいと思います。



陸翔さんは、500号(平成27年3月発行)の「誕生おめでとう」に名前が掲載されました。



## 広報が地域とのつながりに——

菅野 涼さん 瑠泉さん

広報には私たち夫婦や両親、最近では息子も載せてもらったことがあります。600号と聞いて、あらためて長い歴史を感じるし、広報は切っても切れない生活の一部になっています。子どものイベントや定期健診のお知らせ、町の予算やさまざまな事業など、毎月かかさず読んでいますが、もう少し若い人向けのコーナーがあると良いと思います。最近の広報は写真が多いので、祖父母や両親も息子の姿を探して、毎月楽しみに読んでいます。近所の方も息子の顔を覚えてくれていて、「広報に載ってたね」と私が広報を見る前に教えてくれたりすることもあって、地域のつながりを感じることができてうれしいです。これからも見やすく楽しい広報であってほしいです。



涼さんは平成2年3月生まれ(平成元年度)。お子さんの瑠泉さんは令和元年9月生まれです。



# いざという時のため、**避難所**の確認を！

藤田・山崎地区では  
観月台文化センターとともに  
**国見小学校体育館**も開設します。

藤田・山崎地区では観月台文化センターと国見小学校体育館が避難所となります。また、下表のとおり19か所の避難所を指定していて、避難状況や避難者数により順次開設します。



▲国見小学校体育館

地区基幹避難所	避難所・避難場所
	観月台文化センター
	国見小学校体育館
	小坂農村総合管理センター
	森江野町民センター
	国見東部高齢者等活性化センター
	石母田集会所
大木戸ふれあいセンター	

指定避難所	避難所・避難場所
	藤田保育所
	上野台体育館
	グリーンアリーナ 923
	県北中学校校舎
	県北中学校体育館
	柏葉体育館
	国見小学校校舎
	国見子どもクラブ
	森江野第2体育館
	くにみ幼稚園園舎
	国見東部高齢者等活性化センター体育館
	道の駅国見あつかしの郷

## 非常用持ち出しバック用意してありますか？

被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すものをあらかじめリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

### 非常用持ち出しバックの内容例（人数分用意しましょう）

- 飲料水、食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
  - 貴重品（貯金通帳、印鑑、現金、健康保険証、家や車の予備鍵など）
  - 衛生用品（救急用品、常備薬、消毒液、体温計、ウエットティッシュ、マスク、下着類など）
  - 安全用品（懐中電灯、ヘルメット、軍手、スリッパ、携帯ラジオ、モバイルバッテリーなど）
  - 女性向け（生理用品、携帯用ビデ、スキンケア用品、基礎化粧品など）
- ※乳幼児がいる場合は、ミルク、紙おむつ、ほ乳びんなども準備しておきましょう



# 出水期に備えて

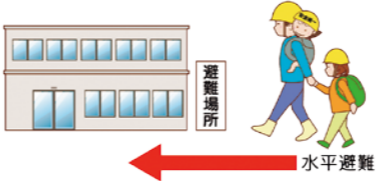
## 避難のポイントを再確認——

台風や豪雨などは予測できるので、事前に避難が必要か判断し、計画を立てておくことが重要です。まずは、自宅などの場所をハザードマップで確認し、避難の判断ポイントを確認しましょう。

住民防災課危機管理係 ☎ 585-2158

### 『避難』の種類


「避難」とは、安全を確保する行動のことで3つの種類があります。



①水平避難

- ・町などが開設する避難所に移動する
- ・安全性の高い親戚や知人宅に移動する

（水害や土砂災害の危険性が高い場合は早めの避難が必要）



②垂直避難

豪雨や夜間で移動の危険性が高いとき

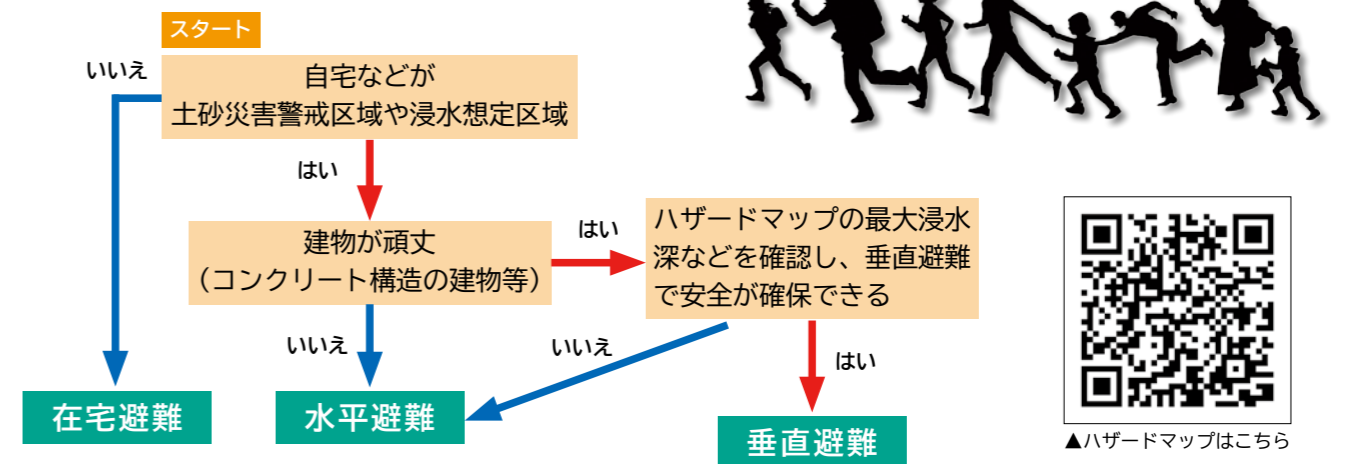
- ・屋内で安全性が高い場所へ避難
- ・浸水による水位が及ばない2階などへ移動
- ・土砂災害では山側から離れた部屋へ移動

③在宅避難（自宅待機）

浸水や土砂災害の危険が低く、安全が確保されている場合

- ・あえて避難所に避難せず、自宅などに留まること

### 出水期における避難行動を確認



▲ハザードマップはこちら

災害の危険性が高まると、各自主防災会（各町内会）では一時避難所の開設、町では指定避難所の開設準備を始めます。各地区の指定避難所が開設されたときは、防災無線放送やLINE、町ホームページ・テレビ・ラジオでお知らせします。

# 令和5年度の国民健康保険税率は”据え置き”

—国見町の国保は、皆さんが納める国保税で支えられています—

国民健康保険は、他の医療保険制度（被用者保険、後期高齢者医療制度）に加入されていないすべての住民の方を対象とした医療保険制度で、加入している方が病気やケガをした時に安心して医療を受けられるように、国民健康保険税としてお金を出し合い、みんなでお互いに助け合おうという制度です。

ほけん課国保係 ☎ 585-2785

## 令和5年度国民健康保険税率

税率は、県へ支払う納付金や保健事業など必要な歳出見込額から、国・県の交付金などの歳入見込額を差し引いた不足分を「集める国保税の総額」とし、これを所得や世帯の人数に応じて割り振ることで決定します。その結果、令和5年度は税率を上げなくても必要な額の収納が見込まれるため、国保税率を変更せず「据え置き」としました。

区分	所得割率	均等割額	平等割額	限度額（※4）
医療分（※1）	6.36%	25,000円	20,400円	650,000円
支援金分（※2）	2.46%	9,700円	6,600円	220,000円
介護分（※3）	2.41%	11,600円	5,900円	170,000円

- ※1 医療給付費（医療に係る費用の7割相当分）に充てるもので、すべての加入者が負担します。
- ※2 後期高齢者（75歳以上の人）の医療費の一部を支援するもので、すべての加入者が負担します。
- ※3 介護保険に要する費用に充てるもので、40歳以上64歳までの加入者（介護保険の第2号被保険者）のみが負担します。
- ※4 税額がこの金額を超える場合は、超えた金額については切り捨てられます。

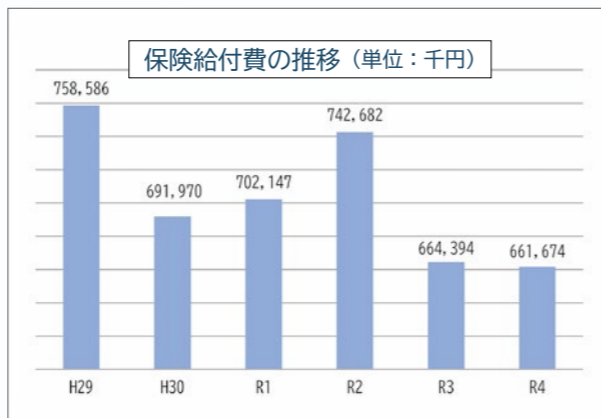
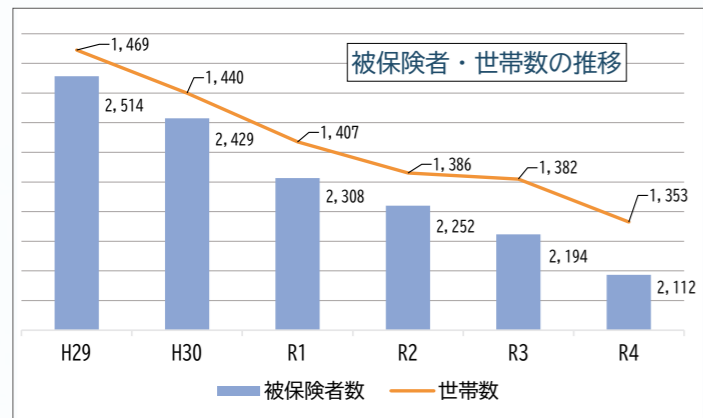
## 課税限度額の引き上げ

令和5年度から、「支援金分」の課税限度額を国の法令改正にあわせて引き上げました。

区分	令和5年度	令和4年度	増減額
支援金分	220,000円	200,000円	+ 20,000円

## 国見町の国保の現状と今後

国保被保険者数や加入世帯数は、人口の減少や後期高齢者医療への移行により減少の一途をたどっています。医療費を見ると令和4年度は6億6千万円で前年度と横ばいですが、被保険者数が減っているため、一人あたりの医療費は緩やかに増加しています。また、国保被保険者の中でも65歳から74歳の前期高齢者が全体の約60%を占め、2025年には「団塊の世代」すべての方々が後期高齢者医療に移行することから、今後ますます「国保の支え手」が減り、今後の国保税率に大きく影響していくと見込まれます。さらに、令和5年度から新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行し、検査・治療等に医療保険が適用されるため、医療費は増加していくと見込まれます。



いつまでも元気にイキイキと健康でいられることは、医療費の削減につながります。毎年1回は、特定健康審査やがん検診を受診し、病気を予防しましょう！



定期点検に先立ち行われた観閲式では、藤田商店街に整列した消防団員を前に、統監の引地真町長が車上から観閲しました。  
会場を県北中学校校庭に移して行われた定期点検では、今年度の各種表彰が行われた後、通常点検、機械器具点検、小隊訓練、ポンプ操法などを実施。団員一人ひとりが正確かつ機敏な動きで日頃の訓練の成果を披露しました。  
閉会式では佐藤博之団長が「より一層の予防消防を図るとともに、団員が一致団結して災害防止に努めていきます」とあいさつ。団員は地域防災への誓いを新たにしました。



### 定期点検表彰等受賞者 (敬称略)

- 【叙勲】  
▼瑞宝単光章 佐藤誠、高橋昭一
- 【消防功労者消防長官表彰】  
▼永年勤続功労賞 渡辺勝弘
- 【福島県消防表彰】  
▼精勤章 松浦祐一 ▼永年勤続章 井砂秀明、高橋靖樹、国分政勝、野村裕一
- 【日本消防協会定例表彰】  
▼精勤章 松浦祐一
- 【福島県消防協会定例表彰】  
▼功績章 井砂秀明 ▼精勤章 佐藤俊弘、国分政勝、浅野正宏 ▼退職団員感謝状 渡辺勝弘、佐藤善浩、吾妻慶一、村上智義
- 【消防協会伊達支部定例表彰】  
▼功績章 佐藤俊弘、齋藤嘉弘 ▼精勤章 松浦司、松浦勇治、後藤喜勝、吉田吉彦、遠藤正彦、古山和也、菅野宏昭
- 【国見町消防団長表彰】  
▼退職団員感謝状 (勤続15年以上) 渡辺勝弘、後藤正則、菊池



▲感謝状を受け取る渡辺勝弘さん

- ▼優良消防団員 (勤続10年以上) 後藤喜勝、赤坂和則、村上晋一、大和田健智、鈴木穰、高橋博、桜澤英生、榊枝大
- 美喜雄、佐藤康史、佐藤善浩、吾妻慶一、村上智義、吉田和正、鈴木栄一、古内宣則、高橋正樹、高野朋弘

自分の未来を”見晴るかす” ——

## 中学部・見晴るかすコースが始まりました！

放課後塾ハル中学部では、6月から新コース「見晴るかすコース」が始まりました。

このコースは、1学期・2学期・3学期で行われるさまざまな取り組みを通じて自身のキャリアを見通す、体験学習型のキャリア教育です。

「国見」の名にあやかった「見晴るかす」を冠したこのコースのテーマは、「私の”好き”を見晴るかす」です。

国見の皆さんと関わり、その出会いとチャレンジを通じて、生徒自身の「好き」をより深く探り、試行錯誤し、自らのこれからを見つけていきます。



今回、5人の生徒が参加を希望してくれました。このメンバーと、自身の「好き」と向き合う旅を楽しんでいきたいです。



塾長によるコース説明



初回授業の様子

放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email:houkagojuku.halu@gmail.com  
TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442  
※ 12:30 ~ 21:30 土日祝日、年末年始を除く。

## 叙勲伝達式 お二人が榮譽に輝きました ——



伝達を受けた高橋一男さん（左から2人目）

たかはし とよとし  
故・高橋 豊壽 さん（旭日単光章）

元国見町議会議員の高橋豊壽さんに叙勲が発令され、5月29日に旭日単光章の伝達が国見町役場で行われました。伝達式では、長男の高橋一男さんに勲記と勲章が手渡されました。高橋さんは平成7年に町議会議員に当選以来、平成23年までの4期16年の永きにわたり在職し、町政の発展に尽力されました。さらには、昭和32年から昭和60年まで28年の永きにわたり町消防団員として予防消防の徹底、防火活動にも大きく尽力されました。



瑞宝単光章を受章された高橋昭一さん(中央)

たかはし しょういち  
高橋 昭一 さん（瑞宝単光章）

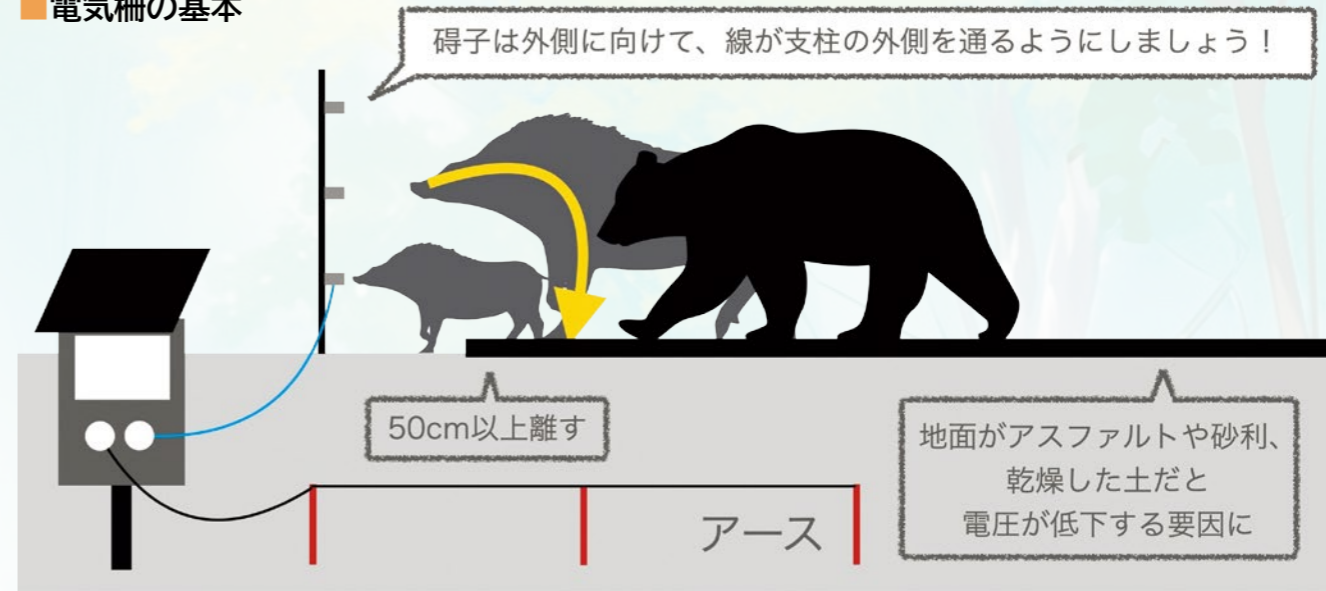
叙勲伝達式が6月12日に国見町役場で開かれ、令和5年春の叙勲で瑞宝単光章を受章された高橋昭一さんへ、勲記と勲章が手渡されました。高橋さんは、昭和36年4月に国見町消防団第1分団第3部の配属となり、その後部長、分団長を歴任、平成9年3月に退団するまでの、36年間の永きにわたる地域消防・防災活動が認められての受章となりました。

## 電気柵を適切に管理しましょう！

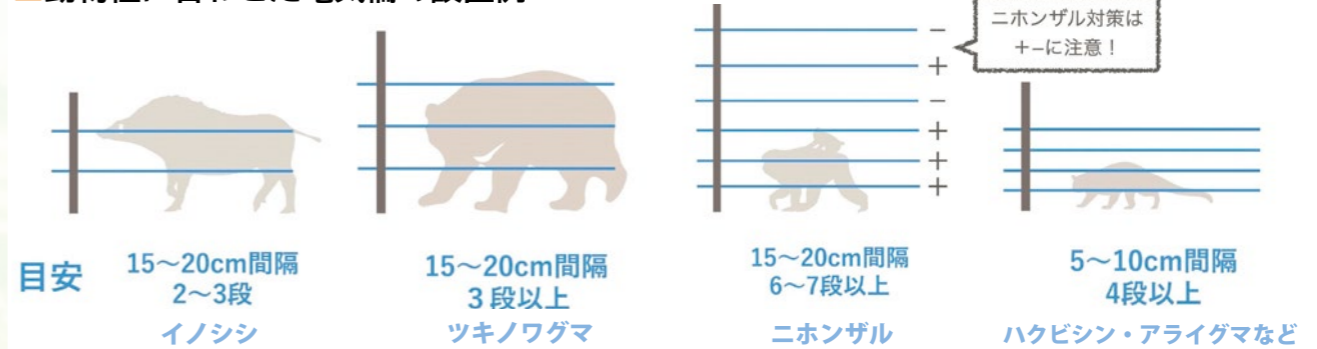
野生動物から農作物を守るために ——

電気柵は、電気ショックの痛みを覚えさせることで、近寄りにくくする心理柵です。適切な設置や維持管理をすることで効果的に侵入を防ぐことができます。しかし、例えば草が線に触れて漏電すると電圧が下がり、感電しない（電気ショックが弱い）と恐怖心がなくなって害獣が農地内に侵入できることを覚えてしまいます。電気柵を適切に管理し、農作物被害を未然に防ぎましょう。 産業界振興課農林振興係 ☎ 585-2986

### 電気柵の基本



### 動物種に合わせた電気柵の設置例



### 電気柵の点検チェック

- 高さに問題はないか
- アース棒は間隔をあけて地中深く刺しているか
- 碍子が外側を向いているか
- 危険表示板が設置されているか
- 側溝など跨いでいる隙間はないか
- 電圧は十分か（4,000V以上）
- 草が線に触れていないか
- 断線していないか
- ショートしていないか（パチッと音がする、夜に光る）
- 斜面や斜面沿いではないか（飛び越えられやすい）
- 舗装道路から50cm以上離れているか
- 出入口（ゲート）は閉められているか

農作物を作っていない時期も、学習させないように適切に管理することが大切です。管理できない場合は撤去するようにしましょう。

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】  
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



## 「古写真にみる国見の歴史展」—あつかし歴史館特別展開催中—

現在あつかし歴史館では、「古写真にみる国見の歴史展」が開催中です。

今回はこの特別展について、あつかし歴史館の笠松金次さんにお話を伺いました。

### ■笠松金次さんから

明治、昭和、平成、令和の各時代で国見町の出来事を写した94枚の写真が、今回第2研修室に展示されて、今日の我々に昔のことを伝えています。皆さんには歴史資料としての古写真の魅力を知っていただき、古写真を大切に残して欲しいですね。会場にはこれまで何冊か出版された、国見町の写真集も同じ会場に展示してあります。あわせてご覧いただけるように準備しています。ぜひ一度ご来場くださることを心よりお待ちしております。



展示されている古写真に見入る来館者

### ■来館者エピソード

千葉県印西市にお住まいの松田さんは、父が貝田出身ということで自分のルーツを探して、貝田在住の従兄弟と2人であつかし歴史館に来館されました。現在開催中の「古写真でみる国見の歴史」展を見学し、「ついさっきこの方にいろいろな話を聞いてきたところですよ」と、おばあさんを写した写真を前に興奮気味に話す場面も。「貝田の松田家は江戸時代に光明寺村から、一族みんなで上がってきたという伝承を持つと聞いたことがあります。この話から推測すると、参勤交代制度が確立する寛永12年(1635)前後のことになりますかね」とも話されました。

今回松田さんは一族の墓地と本家の松田さんを訪ね、また歴史館では松田家のルーツが神奈川県である可能性を感じられたようでした。一枚の写真が語りかけたエピソードでした。

### あつかし歴史館特別展 古写真にみる国見の歴史展

8月6日回まで展示中

- 場所** あつかし歴史館 第2研修室
- 時間** 午前9時から午後4時30分
- 休館** 平日月曜日(月曜日が祝日の場合翌日休館)

### あつかし歴史館インフォメーション

#### ～甲冑(鎧・兜)ありませんか～

あなたの家に甲冑(鎧・兜)はありませんか?

「祖父母の代から伝わる鎧がある」  
「蔵の中に兜が入っている」 など



町内に眠る甲冑を歴史館で展示します。  
お持ちの方は歴史館へご連絡ください。

**問い合わせ** あつかし歴史館 ☎ 585-4520

#### 募集中!! ～あつかし歴史館町民講座～

#### 菊地利雄先生の研究・資料を読む会

#### 「相模武士団の陸奥・出羽国移住」

～頼朝股肱の臣相模武士団 東北移住を考える～

**日時** 7月26日(金)・27日(土)  
午前10時から午前11時30分  
午後1時30分から午後3時

**場所** あつかし歴史館  
**定員** 各回15人程度 ※電話予約制  
**申し込み** あつかし歴史館 ☎ 585-4520



仲田 真子  
(Mako Nakada)

— Activity Report —

Vol. 35

## 地域おこし協力隊活動日記

### 体験会を実施して

こんにちは! 放課後塾ハル小学部スタッフの仲田です。

6月に、小学5年生対象の説明会と体験会を実施しました。今年は25人の申し込みがあり、大盛況でした。今回は、その体験会の様子を紹介いたします。今回の体験会では、普段触れることのない「アート」をテーマにした授業を行いました。授業内では、子どもたちと双方向でやり取りをし、学びを深めていきました。

その結果、積極的に学びに向かう子どもたちの姿勢が見られました。入塾してから子どもたちと一緒に学ぶことをとても楽しみにしています。

小学部に興味のある方は、QRコードから詳細をご覧ください。

随時、新規入塾者も募集中です。お気軽にご連絡ください!

Email: houkagojuku.halu@gmail.com

TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442

※ 12:30～21:30 土日祝日、年末年始を除く。



小学部の授業風景



グループワークの様子

## 国見の民話 かるた

【第三回】  
小坂子育地蔵様



むかしむかし、七ヶ宿街道のひとつ上戸沢宿で、子どもたちが大勢集まって騒いでいました。親父さんが、子どもたちは何を騒いでいるのかと覗いてみると、皆でお地蔵様を泥の中に埋めて大喜びしていました。親父さんは「何て罰当たりなことをしてるんだ」と驚いて、大急ぎでお地蔵様を取り上げ、水できれいに洗って、自宅の床の間に飾りました。

するとその夜、親父さんは急にお腹が痛くなったそうです。不思議に思った親父さんは後日、お祓いをしてもらうと、「せっかく楽しく子どもたちと泥遊びをしていたところだったのに、邪魔をしないでほしい」とお地蔵様が怒ってしまったので、お腹が痛くなったのだと言われたそうです。

## 花と一緒に豊かな心を育てましょう 国見小学校で人権の花運動

**国**見小学校の整備委員の児童14名が6月8日、人権擁護委員の皆さんと「人権の花運動」に取り組みました。

この運動の目的は、優しい気持ちを持って協力しながら花を育て、思いやりの心を育てること。児童らは色とりどりのマリーゴールドとペゴニアの花苗を、プランターへ一つ一つ丁寧に植えました。後日、育てた花を町内の福祉施設などへ寄贈する予定です。

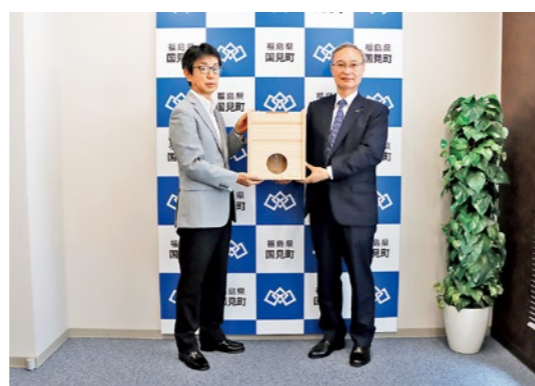


みんなで協力して植えました

## 県産木材の利用推進のために 福島県北森林組合が募金箱を寄贈

**福**島県北森林組合（菅野厚代表理事組合長）は6月12日、国見町役場を訪れ福島県産材の木製品の普及活動のため、県産材を活用して作製された募金箱を寄贈しました。

贈呈式では、菅野厚代表理事組合長が「各種募金活動に活用していただきたい」と引地真町長へ募金箱を手渡しました。募金箱を受けとった引地町長は「素敵なデザインの募金箱ですね。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



募金箱を手渡す菅野代表理事組合長（右）

## 献血協力者へ卵のプレゼント 国見ライオンズクラブが町へ卵を贈呈

**国**見ライオンズクラブ（斎藤政利会長）は6月23日、国見町役場を訪れ、町産の新鮮な卵50パックを贈呈しました。贈呈式では斎藤政利会長が「献血に有効活用してください」と述べ、引地真町長に卵を贈呈しました。

贈呈された卵は、同日に町内各地で行われた献血の協力者にプレゼントされ、献血の啓発に活用されました。



卵を贈呈する国見ライオンズクラブの皆さん

## すくすく元気に、大きくなあれ！ 赤ちゃんに誕生祝品を贈呈

**令**和5年度に生まれた赤ちゃんへ、誕生祝品の贈呈式が6月23日に国見町役場で開かれました。当日は5月に生まれたばかりの赤ちゃんとお母さんが出席。誕生祝品として紙おむつが贈呈されました。贈呈された紙おむつは、株式会社東京エンゼル本社福島工場から町へ寄贈されたもの。紙おむつを受けとったお母さんは「最近紙おむつが値上がりして大変。いただけるのは本当にありがたいです」と話しました。



贈呈を受けた赤ちゃんへ紙おむつを贈る石塚勝美工場長（右）



佐藤祐夢主将（中央）に支援金を手渡す斎藤会長（左）

## がんばるソフトボールスポ少を応援 国見ライオンズクラブが支援金を寄贈

**国**見ライオンズクラブ（斎藤政利会長）は5月24日、国見ソフトボールスポーツ少年団主催のソフトボール大会へ協賛するため、支援金を寄贈しました。

支援金の寄贈は国見町商工会で行われ、斎藤会長から制野徹団長と佐藤祐夢主将へ手渡されました。支援金を受けとった制野団長は「子どもたちの活動や備品購入など、大会運営に役立てたい」と話しました。

## 社会福祉の向上に役立てて 桜歌謡会が町に寄付

**桜**歌謡会（阿部正幸会長）は5月29日に国見町役場を訪れ、社会福祉に役立ててほしいとの目的で、町に2万3千円あまりを寄付しました。

寄付金は、5月14日に開かれた「第10回桜歌謡祭」の出演者や来場者から募ったもの。贈呈式では主催者代表の川見金吉さんと阿部会長から引地真町長へ目録が手渡され、受けとった引地町長は「有効に活用します」と謝辞を述べました。



目録を手渡す阿部会長（中央）と川見代表（右）

## 子どもたちのために心をこめて アサヒ電子株式会社による奉仕作業

**伊**達市に本社があるアサヒ電子株式会社は6月3日、社員のボランティア活動の一環として、藤田保育所とくにみ幼稚園の園庭や施設周辺の除草作業を行いました。参加した約100人の社員の皆さんは、約2時間をかけて除草作業を実施。

一部の社員の方は、預かり保育を利用する園児たちと一緒に手作りけん玉を作成するなど、お互いに交流を深めました。アサヒ電子株式会社の皆さん、ありがとうございました。



隅々まできれいに除草していただきました

## 身近な自然を楽しむ 半田山自然公園で自然体験活動

**く**にみ幼稚園の自然体験活動が6月6日、桑折町の半田山自然公園で開かれました。年長児37人が半田沼を一周するコースを散策。郡山女子短期大学の柴田卓准教授のサポートのもと、さまざまな植物や昆虫、キノコや沼の魚などを見つけながら自然観察を楽しみました。くにみ幼稚園では、園児たちの豊かな心の育成と体力向上のため、仙台大学や郡山女子短期大学などと連携し自然保育を行っています。



柴田卓准教授（右）の説明を熱心に聞く園児たち



# 食育シリーズ



町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。

6月は年中・年長組で「食事のマナーについて」「朝ごはんの大切さについて」をテーマに開催しました。



食事のマナーについて考えよう (年中組)



早寝早起きも心掛けよう (年長組)

## けんこう健口キッズ

5月に実施した3歳6か月児健診で、むし歯が1本もなかったお子さんたちです。



## 7月は「愛の血液助け合い運動」月間です

例年、夏季は献血への協力が得にくくなります。

献血は、病気やケガの治療で血液を必要としている患者さんに、無償で自分の血液を提供し、人の命を助けるボランティアです。

がん等の治療や事故により必要となる輸血用血液は、すべて善意ある皆さんからの献血で得られた血液でまかなわれています。

皆さんの継続的な協力をお願いします。



## 院長先生の診察室から

【第20回】



公立藤田総合病院院長  
近藤 祐一郎 先生

**梅**雨の季節となってきました。6月初旬に発生した線状降水帯による大雨の被害には驚きました。近年は、気候の変動が激しくなっており、注意が必要です。当院では6月6日、火災防災訓練を行いました。コロナ禍で行うことができなかった、避難階段を使って模擬患者を搬送する訓練を3年ぶりに行いました。

5月8日から、コロナ感染者数の発表が、指定医療機関（当院も入っています）からの報告をまとめて、週に1回となりました。6月23日現在、感染者数の急激な増加は認められていません。しかし、小さなピークは今後発生する可能性があり、注意する必要があります。マスク着用は義務でなくなりましたが、病院内ではマスク着用をお願いします。一方、5類感染症となり1ヶ月以上が経過し患者数が落ち着いていることから、病院での面会禁止を緩和していく方針です。直ちに全面解除は行わず、制限しての面会許可となります。ご理解とご協力をお願いします。

当院では、毎年5月に病院祭を開催して、地域の皆さんに院内を見学して頂き、各種イベントを開催してきました。コロナ感染症発生後は残念ながら中止しておりましたが、本年秋には、感染の状況が落ち着いていれば、開催したいと考えていますので、楽しみにして下さい。

マイナンバーカードの保険証利用を国が推進しております。当院でも利用対応可能となっておりますので、ご希望の方は総合受付にてご相談下さい。

# ほけんだより

— Health topics —

☎ほけん課 保健係 ☎585-2783  
✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

## 熱中症に注意しましょう ～高齢者のための熱中症対策～

**高齢者のための熱中症対策**  
熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

部屋の中でも注意が必要です  
**エアコンを上手に使いましょう**

熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。エアコン使用中もこまめに換気しましょう。

- エアコンを上手に使いましょう  
体に直接当たらないように風向きを調整しましょう。
- すだれやカーテンを活用し直射日光を遮る
- 換気をして屋外の涼しい空気を入れる
- 窓とドアなど2カ所を開ける
- 扇風機や換気扇を併用する  
直向き、風が体に当たるのを避け、扇風機を動かすように注意しましょう。

さらに 気をつけるべきポイント

- 熱中症を防ぐために **マスクをはずしましょう**  
マスクをしてしまうと熱中症になりやすい。
- のどが潤いていなくても **こまめに水分補給をしましょう**  
1日あたり **1.2L(びん)を目安に**  
● 1時間ごとにコップ1杯  
● 入浴前後や起床後もまず水分補給を  
● 大量に汗をかいた時は **塩分も忘れずに**  
※水分や塩分の摂取量は、かかりつけ医の指示に従いましょう。

**！高齢者は特に注意が必要です**

1 体内の水分が不足しがちです  
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少なく、体の老廃物を排出する際にたくさん尿を必要とします。

2 暑さに対する感覚機能が低下しています  
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

3 暑さに対する体の調節機能が低下します  
高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

● 東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)  
※19歳未満(小児)のうち

エアコン設置有無・使用状況別	熱中症死亡者数
エアコンなし・使用なし	約18%
エアコンあり・使用あり	約79%
エアコンなし・使用あり	約3%
エアコンあり・使用なし	約0%

約8割は65歳以上の高齢者  
約9割はエアコンを使用していなかった

**予防法ができていないかをチェックしましょう**

- エアコン・扇風機を上手に使用している
- 部屋の温度を測っている
- 部屋の風通しを良くしている
- 必要に応じてマスクをはずしている
- こまめに水分補給をしている
- シャワーやタオルで体を冷やす
- 暑い時は無理をしない
- 深い服装をしている外出時は日傘・帽子
- 涼しい場所・施設を利用する
- 緊急時・困った時の連絡先を確認している

環境省 熱中症予防情報サイトからの情報をチェック! <https://www.wbgt.env.go.jp/>

## 国見町子育て世代包括支援センター

## ももさぽインフォメーション



### ニコニコ相談会

- 実施日** 9月20日(水)
- 時間** 午前10時～午前11時30分
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦  
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

### 乳児健診

- 実施日** 9月28日(木)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和5年5月生まれ)  
9か月児(令和4年11月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、予防接種などについて



国見町図書館からのお知らせや新刊図書情報を掲載しています。ぜひお友達登録してください！



▲LINE登録はコチラから



## 子ども司書講座が始まりました！



▲カウンター業務体験

子ども司書講座の開講式が6月10日に行われ、受講生5人が参加しました。第1回講座では、図書館司書から専門職の仕事について話があり、「カウンターでの仕事」では、子ども司書の5人が先生になり、利用者への対応のポイントについて実践をしながら丁寧に説明しました。

講座生は初めて触れる図書システムも落ち着いて操作していました。施設見学では、普段入ることのできない閉架書庫の蔵書に興味津々の様子でした。

## 大人の文学講座「21世紀に生きる宮沢賢治」

大人の文学講座第1回が、6月22日に福島大学名誉教授高野保夫氏を講師に迎え、「小さな官衙の人間模様」をテーマに開かれました。

22名の参加者は「寓話・猫の事務所」を読み、真剣な表情で講話に耳を傾け、文学を楽しみました。

第2回は「パイプをくわえた資本家の顛末」、第3回は「あるマタギについての賛仰」を予定しています。



▲講師の話熱心に聞く受講生

## 町民ハイキング ～雄国沼～



▲自生する植物の説明を受ける参加者

町民ハイキングが6月18日に行われ、参加者20人が裏磐梯・雄国沼のハイキングを楽しみました。

福島県もりの案内人を講師に迎え、山道の植物や山の説明を受けながら、目的地の雄国沼湿原の木道を目指しました。木道の散策ではレンゲツツジをはじめ、ニッコウキスゲやコバイケイソウなどの美しい草木に親しみながら、初夏のハイキングを満喫しました。

## 国見町長杯スポーツ大会表彰式



令和5年度国見町長杯スポーツ大会表彰式

成績は次のとおり（優勝者のみ）【家庭バレーボール】WinWin【バウンドテニス】佐々木健・嶋原陽子【スポーツウェルネス吹矢】高村和子【ソフトボール】T・イーグルス【卓球】(S・一般男子)大和田淳(S・一般女子)安齋裕子(S・中学生男子)一條琢真(S・中学生女子)松浦彩矢【テニス】浅野豪尚・嶋原陽子【パークゴルフ】大橋利光【グラウンドゴルフ】佐藤幸夫【軟式野球】国見ジャイアンツ【ソフトテニス】(I部)明徳翼・桑原惇(II部)佐藤優希・斎藤亮介(III部)秦真紀子・高橋なおみ【剣道】(一般)遠藤優太(5人制)ドリームチーム(対抗戦)鎌倉チーム



▲パカポコで遊ぼう！

## 遊びをとおして学びや体験を

### 国見っ子わんぱく広場

今年も国見っ子わんぱく広場が開所しました。小学1年生から3年生の児童75人が参加し、元気いっぱい活動がスタートしました。

5月27日の第1回活動では「名札づくり」「輪投げ」など6種類の遊びを行い、3年生が下級生をリードしながら楽しく活動に取り組みました。

6月17日の第2回活動は、町レクリエーション協会の皆さんを講師に迎え、ディスゲッター、カーレットなど4つの「ニュースポーツ」を体験しました。友だちのボールの行方を真剣に見守るなど、グループ内で協力し応援しながら意欲的に取り組む姿が見られました。



▲何点とれるかな

## くみに観月台カレッジ全体学習

### 町長とおはなし会・交通安全教室



▲迫力ある演技を行う県警音楽隊

「町長とおはなし会」が5月26日に行われ、町民の健康づくりや高齢者支援、子育てや過疎対策などをテーマに参加者と町長がコミュニケーションを図りながら、意見交換を行いました。

6月16日には交通安全教室が行われ、福島北警察署桑折分庁舎の小林警部から「交通事故防止のために」と題し講話がありました。交通事故防止シミュレーションでは、危険予測トレーニングを行い、正しい安全確認の方法を学びました。県警音楽隊による、アップテンポなフラッグ隊のドリル演技を鑑賞し、活気あふれる楽しい雰囲気の中で学習ができました。

▶Lifelong-Learning

## 生涯学習通信

国見町教育委員会生涯学習課（観月台文化センター）  
☎ 585-2676 Fax585-2707  
E-mail : shogai@town.kunimi.fukushima.jp

### 観月台文化センター工事のお知らせ

- ・正面玄関前タイル張替工事(7月末まで)
- ・体育館解体工事(3月末まで)

※ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 子育ての合間にほっと一息

### 家庭教育支援講座「子育てリフレッシュ教室」

0歳から2歳児の保護者を対象にした「子育てリフレッシュ教室」を行いました。託児をまごころサービス子ども緊急サポートの皆さんにお任せし、第1回では美容師を講師に、子どものヘアカットのポイントや、かわいいアレンジの方法を教わりました。第2回のピラティス教室では、呼吸を整えて全身を動かし心と体のバランスを整え、第3回のクッキングでは、簡単ローストビーフに挑戦しました。教室後の茶話会では、子育てに関する話に花を咲かせました。



▲アレンジの仕方を熱心に学ぶ参加者たち

# お知らせ

## 一時預かり保育利用料の一部を助成します

町では、町内に住所を有する未就学児の保護者が、一時預かり保育を利用した場合、その費用の一部を助成します。ただし、藤田保育所・くのみ幼稚園利用分は除きます。

▼対象 町内に住所を有する未就学児の保護者

▼助成額 一時預かり保育料の2分の1（上限額…1か月あたり1万円）

▼申込方法 はがき、Eメール、FAXのいずれかに必要事項を明記のうえ応募。

## 「夏休み施設見学会」のお知らせ

県北浄化センターでは、親子で下水道について理解を深めていただくため、「夏休み施設見学会」を実施します。

▼開催場所 県北浄化センター（国見町大字徳江字上恵戸46-1）

▼開催日時 8月6日（日）  
※雨天決行  
【1回目】10時～12時  
【2回目】14時～16時

放送大学では、10月入学生を募集しています。  
心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、約300の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。全国に学習センターが設置されており、サークル活動などの学生の交流も行われています。

## 放送大学入学生募集

▼参加費 無料（記念品進呈あり）

▼対象者 福島市、伊達市、桑折町、国見町の小学校3年生～6年生までの児童とその保護者 ※参加には保護者の同伴が必要です。児童のみの参加はできません。

▼申し込み方法 はがき、Eメール、FAXのいずれかに必要事項を明記のうえ応募。

▼受付期間 6月19日（日）～7月20日（火）

▼申し込み 県北浄化センター（〒969-1741 国見町大字徳江字上恵戸46-1）

▼申込方法 はがき、Eメール、FAXのいずれかに必要事項を明記のうえ応募。

▼申し込み 県北浄化センター（〒969-1741 国見町大字徳江字上恵戸46-1）

増築した建物は対象外）  
②木造住宅耐震改修に関する費用の支援措置  
耐震診断により耐震改修計画を策定した方が対象になります。

▼支援内容 ①全面改修・建替は最大100万円の助成②簡易改修・部分改修は最大60万円の助成。なお、対象工事費用の2分の1が上限額となります。

③ブロック塀等の耐震改修・除去事業  
避難路に面したブロック塀等の除去・改修工事等の安全対策を実施する場合に費用の一部を補助します。

▼対象 ①避難路沿道に面し、地震等による倒壊の恐れのあるもの※既に倒壊しているもの、取り壊したものは対象外②塀の高さが道路面から80cm以上あるもの▼補助金額 撤去・改修工事に係る経費の3分の2（補助上限額10万円）

④屋根耐風改修事業  
住宅の瓦葺屋根に対し、全面葺替え、屋根材を固定する改修を行う場合の改修費用の一部を補助します。

▼対象 ①令和4年度福島県沖地震で被災し、罹災証明書がある方②瓦葺の屋根全体を「瓦の緊結方法の新基準」により改修するまたは、金属屋根などに改修する方

▼補助金額 対象工事にかかる経費の23%（補助上限額55万2千円）

▼申し込み ①から④はすべて11月30日（日）までに建設課管理係へ申し込み。※詳細については建設課へ相談ください。

建設課管理係  
☎585-2972

ヘルプマークとは義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、又は妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。ヘルプマークにはストラップが付いていて、鞆等に付けることが可能です。

## 「ヘルプマーク」を配布しています

ヘルプマークとは義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、又は妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです。ヘルプマークにはストラップが付いていて、鞆等に付けることが可能です。



ヘルプマーク

## 国道4号の道路計画に関するアンケート

国道4号（白石市斎川、大平森合）の計画に向けて、アンケート調査を実施しています。皆さまのご意見をお聞かせください。

詳細はQRコードまたは、別途配布している調査票からご覧ください。

▼期間 7月31日（日）まで

▼回答方法 QRコードまたは、別途配布している調査票の返信用はがきを郵便

ポストへ投函ください。

〒022-248-0048

〒585-1601

〒585-12785

〒521-2694



## 国民健康保険限度額適用・標準負担額減額認定証の更新

現在お使いの国民健康保険限度額適用認定証・標準負担額減額認定証の有効期限は7月31日までです。8月1日以降も認定証が必要な場合は、更新の手続きを行ってください。

なお、8月中に更新手続きをしないと、8月1日から適用されなくなりますので、注意してください。

▼申請場所 ほげん課国保係

▼申請期間 8月1日（日）から随時受付

▼持参するもの  
○現在お使いの国民健康保険限度額適用認定証・標準

負担額減額認定証（新規申請の場合は不要）

○認定証が必要な方の国民健康保険被保険者証

○個人番号が分かるもの（通知カード又はマイナンバーカード）

※「限度額適用認定証・標準負担額減額認定証」とは、入院や高額な外来診療を受ける際、医療機関などに保険証とあわせて提示するもので、窓口で支払う金額が自己負担限度額までに抑えられます。

後期高齢者医療の被保険者証は、毎年8月1日に更新されます。

現在お使いの被保険者証（ピンク色）は7月31日（日）で有効期限を迎えるため、使用できなくなります。

新しい被保険者証（オレンジ色）を7月末までに郵送しますので、8月1日以降に医療機関を受診する際は、

増築した建物は対象外）  
②木造住宅耐震改修に関する費用の支援措置  
耐震診断により耐震改修計画を策定した方が対象になります。

▼支援内容 ①全面改修・建替は最大100万円の助成②簡易改修・部分改修は最大60万円の助成。なお、対象工事費用の2分の1が上限額となります。

③ブロック塀等の耐震改修・除去事業  
避難路に面したブロック塀等の除去・改修工事等の安全対策を実施する場合に費用の一部を補助します。

▼対象 ①避難路沿道に面し、地震等による倒壊の恐れのあるもの※既に倒壊しているもの、取り壊したものは対象外②塀の高さが道路面から80cm以上あるもの▼補助金額 撤去・改修工事に係る経費の3分の2（補助上限額10万円）

④屋根耐風改修事業  
住宅の瓦葺屋根に対し、全面葺替え、屋根材を固定する改修を行う場合の改修費用の一部を補助します。

▼対象 ①令和4年度福島県沖地震で被災し、罹災証明書がある方②瓦葺の屋根全体を「瓦の緊結方法の新基準」により改修するまたは、金属屋根などに改修する方

▼補助金額 対象工事にかかる経費の23%（補助上限額55万2千円）

## 不動産取得税の特例措置

原子力災害により避難指示区域内にある家屋及びその敷地に代わるものを取得した場合、一定の要件を満たしていれば、申請により特例措置による軽減を受けることができます。

また、県内に三世代以上の方が同居又は近居する住宅を令和7年3月31日までに取得した場合、申請により不動産取得税の一部について軽減を受けることができます。※詳しい内容や申請方法は問い合わせください。

第一課不動産取得税チーム  
☎521-2694

広告掲載

7/7 金	・広報くにみ7月号発行日 ・いきいきサロン第4(午後1時30分～) ・観月台カレッジ全体学習 健康セミナー「音楽と運動」 ・子ども司書講座「本の分類」 ・子ども司書活動「雑誌の装備に挑戦しよう」 ・県民スポーツ大会～16日まで
8 土	
9 日	
10 月	・いきいきサロン泉田下(午前10時～)
11 火	・子ども移動図書館3年生
12 水	・いきいきサロン第3(午後1時30分～) ・子ども移動図書館2年生 ・イキイキ子育てクラブ
13 木	・いきいきサロン耕谷(午前10時～) 藤田(午後1時30分～) ・子ども移動図書館1年生 ・心配ごと相談(午前9時～正午) ・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
14 金	・いきいきサロン第8・9(午後1時30分～)
15 土	・少年仲間づくり教室「キャンプオリエンテーション」
16 日	
17 月	・海の日
18 火	・いきいきサロン山根(午前10時～) 徳北・第7(午後1時30分～) ・農業委員会(午後3時～)
19 水	・いきいきサロン第1(午後1時30分～) ・ニコニコ相談会
20 木	・いきいきサロン第2(午後1時30分～) ・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
21 金	・いきいきサロン大木戸(午後1時30分～) ・夏休み学習会～24日まで(23日を除く) ・教育委員会定例会(観月台文化センター・午後5時15分～)
22 土	
23 日	・結婚世話やき人月例相談会(午後1時～午後3時)
24 月	・いきいきサロン板橋(午前10時～)
25 火	・いきいきサロン石母田(午後1時30分～) ・国見っ子わんぱく広場「野外体験活動」 ・スイミング教室～28日まで
26 水	・いきいきサロン貝田(午後1時30分～) ・イキイキ子育てクラブ
27 木	・いきいきサロン大枝(午前10時～) 泉田中(午後1時30分～) ・ブックスタート ・3・9か月児健診 ・心配ごと相談(午前9時～正午) ・戸籍係窓口延長(午後7時まで)
28 金	・いきいきサロン源宗山(午前10時～) 光明寺(午後1時30分～) ・子ども司書活動「くにみ幼稚園預かり保育おはなし会練習」
29 土	・小型家電回収日
30 日	・第2回国見町ビブリオバトル ・マイナンバーカード休日臨時相談窓口
31 月	
8/1 火	・青少年育成事業「ごみ拾い大作戦」
2 水	・いきいきサロン太田川(午後1時30分～) ・子育てひろば
3 木	・いきいきサロン塚野目(午後1時30分～) ・国見っ子わんぱく広場「夏まつり」 ・戸籍係窓口延長(午後7時まで)

8月の休日当番医 (診療時間：午前9時～午後5時)

当番日	医療機関名	電話番号
6 日	(医) 上保原内科 (伊達市保原町上保原大木田 8-1)	☎ 575-3800
11 日	さとう整形外科内科クリニック (伊達市保原町東野崎 70-1)	☎ 572-7606
13 日	(医) さとう整形外科クリニック (伊達郡桑折町字堰合 15)	☎ 581-0123
20 日	(医) ながえクリニック (伊達市保原町中村町 30-1)	☎ 575-1118
27 日	(医) 阪内医院 (伊達市梁川町青葉町 97)	☎ 577-2222

【休日救急歯科診療】(日・祝)  
受付時間：午前9時から午後4時30分まで  
場所：福島市保健福祉センター(福島市森合町10番1号)  
※当番医が変更になる場合や診療していない科もありますので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

5月21日～6月20日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

- 誕生おめでとう ●
- 鈴木 碧葉ちゃん (川内)  
直人さん 菜さん
- 水野谷 碧人ちゃん (宮東)  
徹さん 結花さん
- 松浦 采花ちゃん (宮東)  
嘉生さん 稚奈さん

- おくやみ申し上げます ●
- 佐久間健一さん 77 (山崎館)
- 木村 長治さん 90 (石母田原)
- 佐野 キンさん 92 (第8)
- 菊地 京子さん 82 (国見の里)
- 八島 カネさん 95 (石母田原)
- 八巻 正市さん 86 (第7)
- 佐久間靖明さん 84 (山崎耕谷)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和5年5月31日現在

※住民基本台帳人口

人口	8,285 人	(- 5)
男	3,996 人	(+ 3)
女	4,289 人	(- 8)
世帯	3,383 世帯	(+ 3)

町営住宅・定住促進住宅の  
空室状況をお知らせします

(令和5年6月末)

定住促進住宅	空室なし	滝山団地	1部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	空室なし

建設課管理係 ☎ 585-2972

今月の納期限は7月31日月

町税等は『口座振替』が大変便利です

- 固定資産税【第2期】  
税務課課税係 ☎ 585-2778 税務課収納係 ☎ 585-2780
- 国民健康保険税(普通徴収)【第1期】  
ほけん課国保係 ☎ 585-2785
- 介護保険料(普通徴収)【第1期】  
福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125
- ・振替口座の預貯金残高を前日までに確認してください。
- ・QRコードが印刷されている納付書は「地方税お支払いサイト」から電子納付が可能です。
- ・コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリからの納付も可能です。詳しくは町HPをご確認ください。

『広報くにみ』をもっと身近に

スマートフォンやタブレット端末などで、いつでもどこでも簡単に「広報くにみ」を読むことができるよう、「マチイロ」「マイ広報紙」を導入しています。ぜひ利用ください。

ダウンロードはこちら /

マチを好きになるアプリ  
App Store からダウンロード Google Play で手に入れよう

市区町村の広報紙をネットやスマホで / ホームページにアクセス /

マイ広報紙

『広報くにみ』に掲載された  
写真を希望する方は  
総務課秘書広報係  
(☎ 585-2113) まで  
ご連絡ください。

広告掲載

# 夢に向かって

苦手意識を克服して——

齋藤 遥 さん (県北中3年)

私の夢は、中学校の英語の先生になることです。

英語の先生になりたいと思ったきっかけは、英語の教科を担当している八島先生の授業がとても楽しくて分かりやすく、今まで苦手だった英語が好きになったことが大きいです。外国人とコミュニケーションを取ることも楽しいし、ALTの先生とも積極的に会話をするようにしています。特に、英語と日本語の表現の違いが面白いと感じています。

夢をかなえるため、毎日コツコツと継続して学習しています。授業を集中して受けることを心がけたり、家庭学習も自分なりに頑張っています。授業以外では、先生たちの姿をよく見て将来の参考にしたいです。悩みごとなど、直接話していない先生からも気にかけてもらえたり、気遣ってもらったことがありました。生徒との関わり方や先生同士のコミュニケーションも大切なんだと感じました。

夢がかなったら、相手のことをきちんと認められるような先生になりたいと思っています。また、何でも自分ひとりで抱え込むのではなく、困ったときや行き詰ったときには、ほどよく他人を頼れるようになりたいです。まだまだ頑張らなくてはいけないことがたくさんあるけれど、夢の実現のため努力を続けていきたいです。



美術部に所属し、生徒会では書記を務めている齋藤遥さん。絵を描くことが大好きで、特に植物の絵を描くことが好きだそうです。齋藤さんは夢の実現のため、日々努力を続けています。



編集  
発行  
国見町



町長  
コラム

ま  
真こらむ

【第24回】

## 国見町消防団

梅雨明けしてないのに、朝から強い日差し。4年ぶりに新型コロナウイルス前の内容で行われる国見町消防団の定期点検。

まず、観閲式。商店街に制服を身に着けて整列した団員を車上から観閲。ピシッと引き締まった表情の団員たち。頼もしい。

県北中の校庭。整列の後、叙勲披露や表彰。そして、団員による点検、訓練、分列行進。小坂と藤田の分団が停止間訓練。森江野、大枝、大木戸の分団が行進間訓練。藤田の分団がポンプ操法。最後は全分団で分列行進を披露する。

団員には、それぞれに仕事がある。その仕事を終えた後、日が落ちてから定期点検に向けて皆で練習を繰り返していた。ラッパ隊の中には、人家のない水田の中の農道で自主的に練習をしていた団員もいたと。その成果がすべて出た、規律正しく、そして堂々とした定期点検だった。

火災はもちろん地震、風水害、土砂崩れといった災害があったとき、真っ先に駆けつけてくれるのは消防団だ。一人暮らしのおばあさんが話してくれたことを思い出す。「冬の風の夜は心細い。でも、夜回りの消防車の鐘の音がすると『寒い中、ご苦労さま』と思いながら、安心して寝られるんだ」と。

私たちの消防団は、歴代の団長からの訓を受け継ぐ佐藤博之団長の下、ちっとも偉ぶったりせず、とにかく地域を守る、地域の人たちを守るといった意気を持つ。私たちの暮らしの安心は、この人たちに支えられている。



引地 真